

総選挙クイズ 2023

1 事前	① 解答者は党幹部として応援演説(＝解答)を行い、議席を獲得していく…という体で行う。 ② 各党には 30000 票の比例用地盤票が与えられるので、最初にそのうち半分を各比例区に配置する。 1: 初期配分時のみ、11ある各比例区に最低1票ずつ、かつ合計で15000票を過不足無く使い切る必要がある。
2 出題	① 比例票の状況を一齐公表したうえで、[289問]の出題を開始。 1: 個々の解答は個人単位で行い、党内での相談は不可。 2: 問題文または解答が各小選挙区に強引に関連づけられているが、「市町村名そのもの」「出身の有名人や観光地」等の容易に推測可能なものから「二段階構成の連想」「オヤジギャグにすらなっていないもの」まで関連度は様々なので、過度に気にしないこと。 3: ジャンルについては特に考慮せず作問しているため、大いに偏りが発生しているが、これも気にしないこと。 4: 出題順についてはジャンル／比例区双方の間隔を取ろうとしたが、調整にキリが無いのである程度で諦めている。 5: 通常の読み上げ問題の他、【理由等の文章解答】も含まれる。 6: スルー判定／解答待ちは出題者の5カウントを基準とする。 ② 25問毎に2～3分程度、50問毎に5～10分程度の小休止を取って換気を行う。 ③ 終了時、議席数最多の党が与党＝勝利となる。
3 通常時の正解	① まず、その小選挙区を獲得。併せて、該当の比例区へ 500 票をプラス。 ② 更に、その選挙区がどこかを続けて解答し、正解したら 100 票を更にプラス。(合計600票) 1: 選挙区当ての誤答罰則は無いので、正解者本人が速やかに回答されたい。(相談は不可) 2: 問題文の残りのフォローや解説などは「選挙区当て」の後に画面表示により行う。 ③ 選挙区当ては次のどちらかの方法で解答する。 1: 【〇〇都道府県・第△区】 「〇〇・△」のみで可 2: 【市町村区名】(1つ) 「都道府県」「市区町村」の部分は不要だが、政令指定都市なら区まで解答 また、同一名が他にある場合は区別するよう促すことがある。 (例: 港区…東京特別区／名古屋市／大阪市) 同じ選挙区内ならば問題文／解答中の自治体でなくても可。
4 通常時の誤答	① 該当の比例区から 300 票をマイナス。 1: 結果、該当比例区の得票数が0票以下になってもそのまま計算する。 2: 0票以下の比例区は議席獲得計算の対象外とする。 ② 更に次の問題から 誤答n回目でn問の間、休みとする。(個人単位) ③ 誤答判定音が鳴った瞬間からいわゆる「ダブルチャンス」「トリプルチャンス」…(以下同様)を認める。 1: 連打可否はボタン形状によるが、マナー上、可の場合も誤答ブザーが鳴ってからにすること 2: 「読み切っても誰も押さずに5カウント経過」か「9人誤答」の時点で、その選挙区は欠員として次に進む。 (1) 小選挙区の欠員はそのままとし、補選は行わない。 3: 誤答罰則は誤答順を問わず、対象者全員に等しく適用する。 (1) 例えば、同一問題で同じ党の人が2名間違えると、その比例区からは[600票] マイナスされ、休み回数は個々の誤答回数による。 ④ 終了時に休みが未消化の場合でも、追加罰則等の特別処理は無い。
5 重点選挙区 (早押しボード)	① 「重点選挙区」として、いわゆる早押しボードクイズを行うことがある。 1: どの選挙区が早ボになるかは、出題者側の問題文の都合によるものとする。 2: 早ボでは「選挙区当て」は行わない。 (1) 前回は出題前に選挙区を告知していたが、今回は通常問題と同様、伏せたまま出題する。 3: 休み中に早ボ問題が来た場合は、ボード解答のみ可とする。 ② 誰かが押した or 読み切ったら、全員が約20秒(理由解答等では40秒)の考慮時間中に解答をボードに記入する。 1: 考慮時間後、押した人は「記入と発声の両方」、その他の人(以下ボード)は「記入のみ」を判定する。 ③ 重点区では比例区へのプラス／マイナスを 3000 票を基本に計算する。 1: 【押して正解】は小選挙区獲得に加え、半分の 1500 票を比例区にプラスする。 残りの 1500 票はボード正解者(個人単位)で頭割りする。(端数四捨五入)。 (1) 押した人の単独正解なら[3000票] 総取りになる 2: 【押して誤答】は通常早押しと同様の休みに加えて 1500 票を比例区からマイナスする。 その後、下記の基準でボード正解者のうち1名を【押して正解】扱いに格上げしてから、残りのボード正解者の処理を行う。 【休み中ではない】⇒【押して誤答は他党】⇒【より詳述】⇒【自党が押して誤答していない立候補者】⇒【ジャンケン】 (1) 上記は優先順であるため、決定基準が下がれば「休み中の人」や「自党の他の人が押して誤答」でも格上げ対象になり得る。 (2) 詳述は【漢字/原語/正式名(株)の有無・前後レベルまでは問わない】【理由解答で詳述】等で出題者が判断。 3: 【誰も押さずに全員ボード解答】の場合も前項③-2の【押して誤答】時に準じて処理する ④ 出題者が「正解が出し得ない時点で押された」と判断した場合は押された時点で告知し、実際に全員不正解のときは以下のようにする。 1 該当者本人には通常早押しの誤答時と同様の、「500票の比例票マイナス」と[n問休み]を与える。 2 そのうえで、該当者が所属する党全員の解答権を(この問題に限り)ボード解答も含めて剥奪した上で、同じ問題をやり直す。
6 比例区の補足	① 50問毎の小休止明けに「残りの地盤票と引き換えて誤答回数を減らし、以降の誤答時の休みを減らす」宣言ができる。 1: 誤答回数を減らす場合は1人1回分につき 100 票を消費する。 (1) 50～150問目後は時短のため「党全員の誤答数を0回にする」「党全員共通でn回減らす」「なにもしない」のどれかとし、200、250問目後は個々に減らす回数を指定可能とする。 ただし「予め誤答数をマイナスにしておく」ような指定や、地盤票が不足するような指定はできない。 (2) 休みの軽減は次の誤答時から反映される。(＝小休止前から続く休みはそのままカウントする) ② 250問目後、最後の小休止明けには、前項6-①を踏まえた上で手元に残った地盤票を、任意の比例区に1票単位で投入することができる。 ③ 同一都道府県の小選挙区を同一党が半分以上占めたら 4000 票、独占なら 8000 票(≠12000票)をその比例区にプラスする。 ④ 比例区は【修正サン・ラグ式】で計算し、全問終了時にボーダー上で同点が出たら【ジャンケン】で決着をつける。 ⑤ ゲームバランス調整のため、比例区の議席数は実際の[2倍]にしているのに注意。

メモ用紙

※正解数上位2位タイ以上が正解扱い

党名		個人#	
----	--	-----	--

	小選挙区			比例区	
A1	北海道	12	12	北海道	16
B1	青森	3	21	東北	24
B2	岩手	3			
B3	宮城	5			
B4	秋田	3			
B5	山形	3			
B6	福島	4			
C1	茨城	7	33	北関東	38
C2	栃木	5			
C3	群馬	5			
C4	埼玉	16			
D1	東京	30	25	東京	38
E1	千葉	14	36	南関東	46
E2	神奈川	20			
E3	山梨	2			
F1	新潟	5	18	北陸 信越	20
F2	富山	3			
F3	石川	3			
F4	福井	2			
F5	長野	5			
G1	岐阜	5	33	東海	42
G2	静岡	8			
G3	愛知	16			
G4	三重	4			
H1	滋賀	3	45	近畿	56
H2	京都	6			
H3	大阪	19			
H4	兵庫	12			
H5	奈良	3			
H6	和歌山	2			
I1	鳥取	2	20	中国	20
I2	島根	2			
I3	岡山	4			
I4	広島	6			
I5	山口	3			
J1	徳島	2	10	四国	12
J2	香川	3			
J3	愛媛	3			
J4	高知	2			
K1	福岡	11	34	九州	40
K2	佐賀	2			
K3	長崎	3			
K4	熊本	4			
K5	大分	3			
K6	宮崎	3			
K7	鹿児島	4			
K8	沖縄	4			
	289			352	

※比例区は実際の2倍に設定